

「親の学習」プログラム

1 — 5

乳幼児とふれあう

— 保育体験をしてみましょう —

あなたは、幼い子供と一緒に遊んだことがありますか？

ここでは、乳幼児と直接ふれあう体験をしましょう。

手作りのおもちゃで一緒に遊んだり、食事や身の回りの世話をしたりする中で、きっとたくさんの発見があるはずです。幼い子供たちは、どんなことができて、どんなことに興味をもっているのでしょうか。

ワーク
1

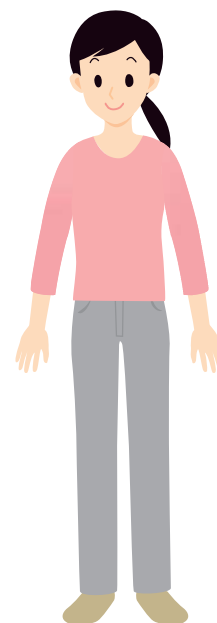
保育体験をする前に、気をつけることをまとめましょう。

あなた自身の身だしなみ

あいさつ

乳幼児への接し方

その他



ワーク
2

保育体験をしてみましょう。



一緒に遊んだ子供の名前・年齢は？

遊んだ場所やその環境は？

行なった遊び・子供の様子は？

保育者の様子は？

ふりかえり

保育体験をして幼い子供や子供のかかわりについて、学んだこと、感じたことや考えたことを書きましょう。

資料

手作りおもちゃでふれあいましょう！

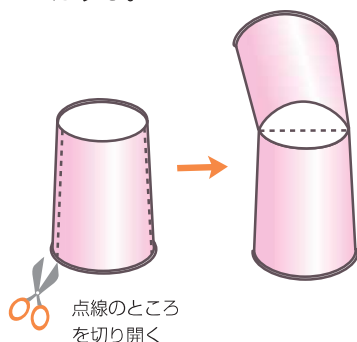
紙コップを利用して、簡単にできるおもちゃをつくってみましょう。
おみやげにしたり、子供たちと一緒につくっても楽しいですね。

「ぱくぱく人形」をつくりましょう

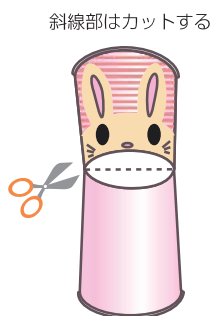
【必要な材料】紙コップ・色画用紙・のり・はさみ・セロテープ・マジック 他

【つくりかた】

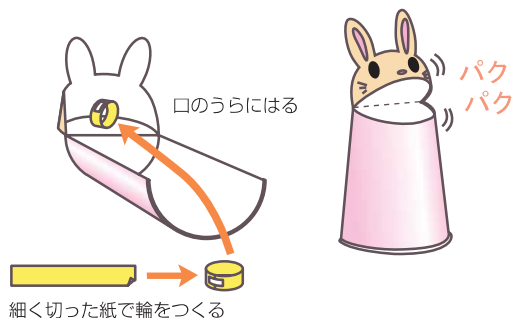
①紙コップをたてに切って開き、下の図のようになる。



②底の部分を口にして、動物の顔をつくる。



③別の紙で、指を入れる輪をつくり、口の裏にはる。



「ぱくぱく人形」をつかった遊び方の工夫

☆グループごとに登場する動物を決め、ミニ人形劇に挑戦してみよう。

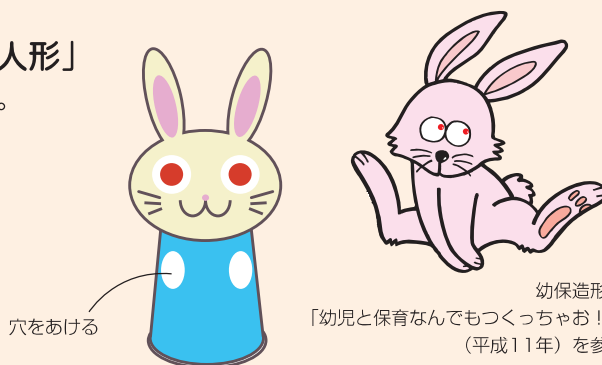
舞台や簡単な小道具をつくると、一層盛り上がります。保育体験で演じる前に、発表し合い、お互いに評価してみよう。

☆ぱくぱく人形をつかって、一緒にうたを歌ってみよう。

動物が登場するうたを歌うと、一層盛り上がります。
ペープサートと組み合わせても、楽しいよ。

紙コップを使った「かんたん指人形」

同じ材料で、簡単に指人形ができます。
紙コップに指の穴を2つあけ、動物の顔をつけるとできあがり。
紙コップの柄を上手に利用すると、かわいい洋服になります。



幼保造形研究会編
「幼児と保育なんでもつくっちゃお！」小学館
(平成11年)を参考に作成

資料

こんな工夫で充実した保育体験をしています

うらは安全ピン

☆手作りの名札
をつけて

子供たちに早く名前を覚えてもらいた
いので、手作りの名札をつけています。

安全性を考え、材料はフェルトで、キ
ャクターは各自が工夫しています。幼稚園
の先生にも好評です。名札がきっかけで、
すぐに子供たちとも仲良くなれるのでよ
かったです。

☆保育体験の経験を生かして
夏休みにボランティアを

授業での保育体験は、いろいろな準備
や気をつけなければならないことが多く、
少し面倒くさいなと思っていました。

でも、実際に保育体験をしてみたら、
とても楽しくまたやってみたいと考え、
夏休みに保育所でボランティアをするこ
とにしました。長い時間、園児と接する
ことで、いろいろなことが学べます。

☆手作り絵本



授業で、毎年、手作りの絵本を作って
います。保育体験では、その絵本の読み
聞かせを行います。絵本をつくるのは大
変ですが、一生懸命に聞いてくれる園児
をみると作ってよかったと思います。

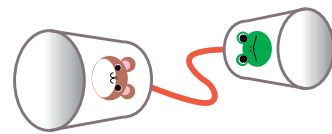
☆保育実習を終えた後も交流を

私たちは、年に2回の保育体験を実施
しています。保育体験の後、お礼の気持
ちを込めて、園児に「立体お手紙」を贈
りました。

(色画用紙や折り紙などで壁面構成し、簡
単なお礼の言葉も添えました。)

その後、園児一人一人から、かわい
いお手紙をもらい、とても感動しています。
習いたての文字で、一生懸命に書いたお
手紙や、一緒に遊んだ絵が描いてあるお
手紙などに、胸が熱くなりました。たっ
た2回の保育体験でも、このように交流
が深まるといいと思います。

☆手作りおもちゃで



遊べるおもちゃを一緒に作ります。材料
はすぐに用意できるもので、ペットボトル
や紙コップ、ビニール袋などを利用します。

できるだけ、子供たちと一緒に考えて、
自分たちだけのおもちゃを作ります。作っ
た後は、それを利用して一緒に遊べるので、
とても仲良くなることができます。工作を
とおして、子供たちの発達の様子もよくわ
かります。作ったおもちゃを使って、グル
ープごとに競争をしても、盛り上がって楽
しいです。